

第2期たまの創生総合戦略 数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の実績一覧

基本目標①「雇用創出」本市における安定した雇用を創出する

■数値目標

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
1人当たりの市民所得額	1/1～ 12/31	円		2,634,000	2,641,000	2,648,000	2,655,000	2,660,000	達成	全国的な人手不足や物価高騰による賃上げに加え、完全失業率の改善や最低賃金の上昇など雇用面においても進展がみられることから、市民所得が緩やかに上昇したものと考えられる。
			2,620,000	2,644,000	2,777,000	2,787,000	2,824,721	2,843,000		
市内就業率	国勢調査	%		51.4	51.7	52.0	52.3	52.6	－	(国勢調査の結果が出ないため分析不能)
			H27 50.3	49.3	－	－	－	－		
市内就業者数	国勢調査	人		27,233	27,054	26,871	26,684	26,494	－	(国勢調査の結果が出ないため分析不能)
			H27 27,244	24,893	－	－	－	－		

■重要業績評価指標(KPI)

(1)地元企業等との連携により、若い世代の市内就業を促進する

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
新規就農者数	4/1～ 3/31	人		2	2	2	2	2	目標値は 下回るが概 ね達成	- 令和5・6年度は、就農相談件数が令和2～4年度の半数程度に減少し、新規就農者は0人だったが、計画期間を通してみると、概ね達成した。 ※相談件数 R2年度 10件、R3年度 8件、R4年度 9件、 R5年度 4件、R6年度 6件 ・就農自体は、相談から経営開始まで時間がかかるものではあるが、潜在的な新規就農希望者に届く情報提供・広報を考える必要がある。
			2	3	3	2	0	0		
市内高等学校卒業就職者の 市内就職率	4/1～ 3/31	%		50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	未達成	雇用情勢の改善は続いているものの、計画期間を通じて市内就職率は減少傾向にある。一方、市立の2校のみで比べると、直近で増加(R5:48.6%、R6:50.9%)しており、引き続き、市内企業のPRを図る。
			47.3	44.0	39.5	32.1	35.9	34.1		

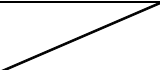
指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
岡山県求人サイトに新規登録した市内企業数	3/31時点	社		4	8	12	16	20	達成	令和2年度からの累計は28社にのぼる。移住者からの移住支援金に関する問い合わせも多いことから、引き続き事業の周知を図る。
			—	2	7 (累計9)	7 (累計16)	5 (累計21)	7 (累計28)		

(2) 市内産業の魅力づくりを支援する

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
雇用保険被保険者数	4/1～ 3/31	人		15,700	15,750	15,800	15,850	15,900	未達成	令和3年度以降減少が続いているが、その減少幅は年々縮小している。玉野地域についても日本全体と同様に、労働者数は増加傾向に向かいつつある。
			15,464	15,783	15,597	15,249	15,177	15,158		
市内開業率	4/1～ 3/31	%		5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に減少したが、その後は一定の開業率を維持している。
			4.72	3.61	3.01	3.51	2.37	—		
旅客船寄港回数	4/1～ 3/31	回		20	20	20	20	20	未達成	コロナ禍前に邦船を運航していた船社が、客船事業を終了したことや国(日本)のコロナ禍明け対応が他国に比べ遅かったこともあり、コロナ禍前のような寄港に至らなかったため、目標未達成となった。
			19	0	0	2	12	12		
特産品認定件数	4/1～ 3/31	件 (累計)		20	40	60	80	100	未達成	お宝たまの認定制度について、生産者や製造者等へ制度の周知が不足しており、目標未達成となった。 ※累計内訳(R5→R6):新規認定6件、製造中止による認定取消3件
			12	89	73	75	80	83		

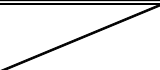
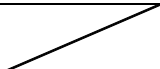
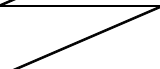
基本目標② [移住・定住] 本市への新しいひとの流れをつくる

■数値目標

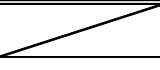
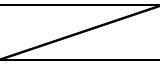
指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
10～20歳代の転出 ※H30の転出超過数220 人と各年度の転出超過 数との差	4/1～ 3/31	人		16	32	48	64	80	達成	転出超過の状況にはあるものの、目標値は達成しており、傾向として転出超過は抑制されている。今後も引き続き定住促進等の取組に注力していく必要がある。
			—	6	-50	70	104	105		
子育て世代(20～44歳)の 定住 ※H30の子育て世代4,983 世帯と各年度の世帯数と の差	4/1～ 3/31	世帯		8	16	24	32	40	未達成	目標値を大幅に下回っているものの、直近ではそのかい離幅は縮小している。子育て世帯の定住に資するよう、引き続き希望をもって安心して子育てできるまちの実現を目指して、子育て支援体制の強化を図る必要がある。
			—	-128	-219	-313	-281	-243		

■重要業績評価指標(KPI)

(1) 地元への定住希望を叶えることで、若い世代の定住人口を増加する

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
【再掲】 市内高等学校卒業就職者 の市内就職率	4/1～ 3/31	%		50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	未達成	雇用情勢の改善は続いているものの、計画期間を通じて市内就職率は減少傾向にある。一方、市立の2校のみで比べると、直近で増加(R5:48.6%、R6:50.9%)しており、引き続き、市内企業のPRを図る。
			47.3	44	39.5	32.1	35.9	34.1		
若者雇用協力企業数	4/1～ 3/31	社		25	25	30	30	35	未達成	登録数は引き続き増加傾向にあるが、目標には届いていないため、周知・登録の動機付けの更なる強化が必要である。
				8	12	11	16	20		

(2) 移住希望者へのきめ細やかな支援により移住人口を増加する

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
認定移住者登録件数	4/1～ 3/31	件 (累計)		20	40	60	80	100	達成	移住相談会への参加者も増加傾向にあるなど、地方移住への関心が高まっていると考えられる。平成30年以降の認定移住者登録の累計は258件にのぼる。
			18	51	83	130	184	258		
空家バンク成約件数	4/1～ 3/31	件 (累計)		8	16	24	36	40	達成	空家の成約件数が伸び悩んだものの、目標値は達成された。さらなる空家バンク制度の周知を行い、所有者の管理意識向上等を図る必要がある。
			5	9	24	37	43	46		

(3)若い世代に伝わる情報発信を効果的に行う

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
市の施策に関する情報が 市民へ提供されていると感 じている市民の割合	市民意識 調査	%		63	65	67	68	68	未達成	令和2年度からポイントは減少傾向にあったが、直近 では回復傾向にある。引き続き広報誌やSNS等の活用 により施策の周知を行う必要がある。
			61.2	57.4	57.7	53.5	53.7	54.5		
SNS登録件数	4/1～ 3/31	件		6,500	7,000	7,500	8,000	8,500	達成	市の公式SNS登録件数は年々増加し、目標値は達成 された。発信する情報の内容に応じて有効なSNSプ ラットフォームを使い分けることにより、引き続き、効果 的な情報発信に取り組む。
			5,013	7,754	8,973	9,855	10,712	11,855		
子育て支援センターの園 庭開放来場組数	4/1～ 3/31	組		3,100	3,300	3,500	3,625	3,750	未達成	コロナ禍の影響により回数を控えていた時期もあり、目 標は未達成となったが、令和5年度にコロナ禍以前の 回数に戻して以降は徐々に回復しており、今後も増加 が見込まれる。
			2,607	0	0	485	1,002	1,386		

(4)関係人口の創出・拡大を推進し、本市への支援の輪を広げる

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
ふるさと納税寄付額	4/1～ 3/31	円		100,000,000	105,000,000	110,000,000	115,000,000	120,000,000	達成	全ての年度で寄附額の実績値が目標値を上回ってい るものの、令和6年度は寄附金額が前年度より低下し た。主な原因として、人気返礼品のラインナップが縮減 したことに加え、寄附者の需要が嗜好性の高い果物か ら生活必需品へと移行したと考えられる。今後市場の 動向を把握しつつ、寄附額増加に向けた手法を検討 する。
			131,677,000	332,379,000	251,754,400	435,615,000	543,737,000	472,477,000		
ふるさと人財大使の認定 者数	4/1～ 3/31	人 (累 計)		2	4	6	8	10	未達成	コロナ禍の影響により、事業開始に至らなかったため 目標未達成となった。
				0	0	0	0	0		

基本目標③「結婚・出産・子育て」若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える

■数値目標

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
合計特殊出生率	人口動態 保健所・市 町村別統 計(厚生労 働省)	—		1.53	1.55	1.57	1.59	1.62	未達成	令和2年度から3年度にかけて微増だったが、計画期間を通してみると減少傾向にある。子育て世代への支援体制の強化を図り、希望をもって安心して子育てできるまちを実現する必要がある。
			H28 1.44 H29 1.47 H30 1.43	1.21	1.30	1.26	—	—		
女性の市内就業率	国勢調査	%		42.0	42.3	42.6	42.9	43.2	—	(国勢調査の結果が出ないため分析不能)
			H27 41.8	42.0	—	—	—	—		
女性の市内就業者数	国勢調査	人		11,577	11,514	11,449	11,382	11,313	—	(国勢調査の結果が出ないため分析不能)
			H27 11,833	11,030	—	—	—	—		

■重要業績評価指標(KPI)

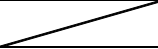
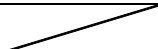
(1)若い世代の交流を支援することにより結婚しやすい環境をつくる

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
民間の協力事業者の数	4/1～ 3/31	店舗		—	—	—	—	100	未達成	地域おこし協力隊の協力により、新たに3件の登録があったが、目標値の1割未満にとどまった。事業の進め方について、再検討する必要がある。
			—	0	0	5	5	8		

(2)安心して出産・子育てができる環境づくりを推進し、出生率の向上を目指す

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
子育ての環境が整っていると感じている市民の割合	市民意識 調査	%		62.0	64.0	66.0	68.0	70.0	未達成	子育ての環境が整っていると感じている市民の割合は、令和2年度から減少を続けており、令和6年度は30%台まで落ち込んでいる。現状を踏まえ、今後も子育て支援体制の強化を図り、子育て環境の魅力向上を目指していく。
			60.5	59.2	55.0	47.9	41.0	36.4		
この地域で子育てしたいと思う親の割合	乳幼児 健康診査	%		98.0	98.5	98.5	99.0	100.0	未達成	この地域で子育てをしたいと思う親の割合は微減しているものの、毎年高い水準で回答を得られているため、引き続き満足度向上につながるよう育児環境の充実を図っていく。
			95.6	96.8	96.5	96.0	95.0	94.6		

(3) ワークライフバランスの向上に資する支援を進める

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
子育てファミリーサポートセンターの提供会員数	4/1～ 3/31	人		135	135	135	135	135	未達成	高齢化等により提供会員数が減少しているが、近年は横ばいで推移している。
			135	110	110	105	112	107		
放課後児童クラブにおける待機児童数	4/1	人		0	0	0	0	0	達成	入所要件を満たす希望者全てを受け入れているため、待機児童は発生していない。
			0	0	0	0	0	0		
病児保育事業の年間延べ利用者数	4/1～ 3/31	人		253	253	252	251	249	未達成	新型コロナウイルス感染症の流行を機に利用数が大きく減少していたが、近年は徐々に利用者の増加が見られる。
			236	47	58	26	120	134		

(4) 子どもたちの健全な育成を推進し、子育て世代に支援される教育環境を構築する

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
「地域や社会をよくするた めに何をすべきか考えたこ とがある」小学生の割合	全国学力 学習 状況調査	%		45.0	50.0	55.0	57.0	60.0	達成	たまのの魅力再発見・発信事業により、地域をフィー ルドにした学びが市内各校で行われており、多くの学 校で、魅力発信の取組により、自分にできることを考 える学習の推進が図られている。 このことが、学校の教育活動以外でも、児童生徒の地 域貢献への意欲の高まりにつながっている。
			41.7	62.2 ※全国調査中止の ため、岡山県学力 学習状況調査結果 で代替	45.8	53.6	77.5	83.3		
「地域や社会をよくするた めに何をすべきか考えたこ とがある」中学生の割合	全国学力 学習 状況調査	%		45.0	50.0	55.0	57.0	60.0	達成	
			42.8	48.0※同上	39.8	41.9	58.7	80.7		
カウンセラー(スクール、保 育)延べ相談件数	4/1～ 3/31	件		2,420件 内訳： スクール2,200件 保育220件	2,420件 内訳： スクール2,200件 保育220件	2,420件 内訳： スクール2,200件 保育220件	2,420件 内訳： スクール2,200件 保育220件	2,420件 内訳： スクール2,200件 保育220件	達成	県費と市費により公認心理師等の心の専門家をスク ールカウンセラーとして市内の全校園に配置し、多様な 相談ニーズに対応しながら、支援体制の充実を図って いる。子どもを取り巻く課題が多様になる中、相談ニ ーズは高まってきているが、勤務回数に限られている中 で、年度により相談件数には多少の変動が見られる。 各校において、子どもや保護者の相談だけでなく、研 修や子どもに向けた心理教育プログラム等も実施され ており、活用の充実が図られてきている。
			2,323件 内、スクール 2,120件 保育203件	3,024件 内訳： スクール2,450件 保育574件	2,649件 内訳： スクール2,167件 保育482件	2,969件 内訳： スクール2,589件 保育380件	2,821件 内訳： スクール2,267件 保育554件	2,563件 内訳： スクール2,007件 保育556件		

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
企業見学実施件数	4/1～ 3/31	件		64	64	64	64	64	未達成	市内のすべての中学校において、職業体験や職業インタビュー活動が行われるなど、各企業と学校が連携して、職業意識を高めるための活動が行われており、教育活動の充実が図られている。令和6年度の実施件数については、目標値や前年度数値を下回っているが、生徒数の大幅な減少が要因の一つとして考えられる。
			54	21	52	54	58	55		
子どもの学校(園)での教育に満足している市民の割合	市民意識調査	%		63.0	64.0	65.0	66.0	67.0	未達成	令和3年度以前は6割前後で推移していたところ、近年は大幅に減少傾向にあったが、令和6年度は令和5年度と比較して微増に転じている。満足度向上のため、より一層、教育の充実を図る必要がある。
			60.6	59.8	61.9	49.8	44.3	45.1		

基本目標④ [まちづくり・地域間連携] 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

■数値目標

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
今後も本市に住み続けたいと思う市民の割合	市民意識調査	%		75.8	76.6	77.4	78.2	79.0	未達成	一貫して7割前後で推移しており、目標達成には至っていないものの令和6年度は増加傾向にある。引き続き、誰もが行ってみたい、住み続けたいまちを目指して施策を進めていく必要がある。
			74.2	69.9	71.6	72.2	70.9	74.5		

■重要業績評価指標(KPI)

(1) 公共施設の再編整備や利便性の高い地域公共交通の充実等を進めることにより時代に合った公共サービスを提供する

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
公共施設の床面積削減率	4/1～ 3/31	%		5.1	5.7	6.4	7.1	7.7	達成	公共施設の床面積削減率は、令和6年度が8.13%と、前年度と比較して0.27ポイント増加し、現時点で令和6年度目標値を達成している状況である。しかしながら、「玉野市公共施設等総合管理計画」に定めている36%の床面積削減を達成するためには、現在策定作業を進めている「玉野市公共施設マネジメント指針」のほか、施設ごとに策定している個別施設計画に基づき、着実に削減を進める必要がある。併せて、用途廃止した公共施設の利活用を進めるため、「玉野市未利用地の利活用に関する方針」に基づき、市として利用する予定のない施設は処分を進める。
			3.7	7.7	7.2	7.6	7.86	8.13		
公共交通運営事業利用者数	4/1～ 3/31	人		119,500	119,500	119,500	119,500	119,500	未達成	公共交通運営事業利用者数は、シータク及び石島航路については、前年に比べて、利用者数が増加傾向であるが、シーバスについては、令和5年11月の運賃値上げ以降、利用者の減少傾向が続いている。しかしながら、令和6年10月から11月にかけて行った、利用促進対策としてのシーバス運賃無料デーの実施以降、やや利用者の増加傾向が見られる。
			124,363	94,049	95,117	117,775	112,352	110,602		

(2)誰もが活躍できる地域社会を実現する

指標名	期間 (時点) 等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 状況	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
障害者スポーツイベント等 への延べ参加者数	4/1～ 3/31	人		300	315	330	345	360	達成	玉野市総合体育館を拠点に関係機関等と連携を図り 障害者スポーツイベントを実施し、目標を達成することができた。
			275	136.0	519	360	320	387		
スポーツ教室等の延べ利 用者数	4/1～ 3/31	人		27,000	27,100	27,200	27,300	27,400	達成	令和6年度は、年度途中で講師都合により、教室数が 減少したため、利用者数も減少したが、これを除けば、 コロナ禍以降は目標を達成できている。
			26,433	19,754	22,354	27,736	28,175	26,147		
この1年間で生涯学習を 行った市民の割合	市民意識 調査	%		33.5	34.0	34.5	35.0	35.5	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標につい ては未達成となった。引き続き、参加しやすい生涯学 習に関する施策を検討していく必要がある。
			27.2	19.2	19.5	19.0	23.1	22.7		
健康マイレージ応募者数	4/1～ 3/31	人		1,200	1,215	1,230	1,245	1,260	未達成	健康づくりを始めるきっかけになるといった肯定的な意 見が寄せられているが、目標未達成であるため参加者 数の増加に向けた方策を検討する必要がある。
			1,171	733	778	870	776	826		

<目標達成実績集計>

達成	14 (34.1%)
目標値は下回る が概ね達成	1 (2.4%)
未達成	22 (53.7%)
－	4 (9.8%)
計	41